

北杜市図書館ボランティアからの意見

ボランティアからの意見（現状と展望）

※ 子ども対象のおはなし会（全8図書館で実施）

図書館司書との信頼関係の下、地域と結びついた自主的なお話会を実施している

保育園等への出前お話会の際は本の宅配を行っている

小学生対象のお話会は児童館や放課後児童クラブ・わくわく教室との協力体制で実施

※ 大人対象のイベント

図書館のイベントは子ども対象のイメージが強いが幅広い年齢層に向け実施

小さい図書館が地域とのかかわりの中で特色ある活動をしている（武川・明野）

グループが横のつながりを持ち一体となつての活動も行っている（小淵沢）

図書館主催の「大人のための朗読会やまびこ」11月に150回

市内の8朗読グループが持回りで毎月開催、参加者増加中（30～40人）

※ 個人ボランティア

ブックスタート事業・本の宅配（個人向け）・施設整備など

宅配は一部図書館のみの対応、環境整備は単独施設のみ（草とりなど）

※ これからの図書館（望みたいこと）

ボランティアは子供の「いのち」と「こころ」を育てる活動を担っている

（地域と「共に育つ」場所として図書館は重要であると思う）

図書館は情報源、地域資料の収集は欠かせない役割

公民館的役割やサロンとして、子供から大人までの居場所である

地域活性化の核として、図書館を位置づけられないか

ボランティアの育成に強力な体制が必要（横のつながり構築支援など）

明野地区

記入者 1) 2) 3) メンバー 柴山裕子

1) 明野図書館ファンクラブ 2) おはなしサポーターあけの 3) 「わくわくどきどき
お話広場実行委員会」(図書館も参加) 4) 「やまなし子供文化研究会」人形劇制作・上演

1) 地域の人々にとって図書館が身近な存在となるようにとの目的で2011年から活動。

大人向けイベントの企画・実施。講演会(明野図書館収集資料の自然環境に関するこ
と)・ブックカフェ・音楽と朗読の集い等。

2) 未就園児から小学校低学年までを対象に図書館・児童館と協働でお話会を実施。

3) 合併後、各図書館で行われていた「図書館まつり」への予算削減に伴い地域委員会の
青少年育成事業として採択されるよう働きかけた(おはなし会主催のドングリの会
で)。夏の人形劇(プロの劇団による)・おはなしの部屋めぐり・クリスマス会・保育
園卒園児のさくらの花びらメッセージ掲示など

*子ども向けのおはなし会については保育園・児童館と協力体制を整える必要がある。

*「わくどき」事務局を図書館に依頼している。協力体制の維持が必要。

*ボランティアの高齢化・後継者不足・地域の図書館だから活動できるという人もいる。

*大人向けイベントは地域の魅力発信と図書館利用促進を兼ねている。

- ・2000年に発足し、23年目を迎えました。
会員は14名。発足当時の会員が大多数です。
- ・2001年の全国植樹祭の時、「すたま森の図書館」に天皇陛下・皇后陛下をお迎えして、活動の様子(折り紙、大型紙芝居等)を見ていただきました。
- ・2012年度、第45回「全国優良読書グループ」として表彰されました。
- ・2022年度、「文部科学大臣表彰」されました。

◆活動内容

- ・毎月第1水曜日 アリスおはなし劇場(乳幼児向け) …図書館員さんと共に行う
 - ・毎月第3土曜日 アリスおはなし劇場(幼児向け) …アリスのみで行う
 - ・出張おはなし会
 - ☆南部子ども園：毎月第1水曜日のおはなし会の後
 - ☆須玉保育園：年4～5回
 - ☆児童館：年4～5回
 - ☆子育てサークル：年1回
 - ・新春スペシャルアリスおはなし劇場：年1回(冬季)
 - ・アリスこわいおはなし会：年1回(夏季)
 - ・ぬいぐるみのお泊り会
 - ・7ヶ月検診(ブックスタート)
 - ・セカンド(2歳児対象)
- すべて図書館員さんと共に行う

◎須玉町の各地区の民話をアリスのメンバー全員で「大型紙芝居」として制作しています。(石になったお姫様、千代の吹上げ、みそなめ地藏他)
縦80cm、横110cmの大型で、6作品あります。

◆活動をとおしての感想

ボランティアとしてたくさんの親子と接することができます。
特に7ヶ月検診で2人目、3人目のお母さんとお会いした時、「上の子が下の子に絵本を見せてくれるんですよ」と嬉しそうに話してくれます。
おはなし会で乳幼児とそのお母さん、お父さんにお会いする事により、私たちも数多くの発見があります。
共に育っていく！まさにその場がおはなし会にあると思います。

高根図書館 ボランティア お話の会こだま 報告者 谷 芙美子
高根図書館の催事に協同して活動しています。

主な活動は①「おはなしの国」毎月一回 絵本読み聞かせ・手遊びなど
②こわいお話会・クリスマス会のメインに出演 寸劇 紙芝居など

「子育てするなら北杜市で！」の一翼を担う気持ちでやっています。
「おはなしの国」はゆっくりとした空間の中で図書館ならではの「とも育ち」
を共感できます。

—ある日の風景から—

4歳ぐらいの子がお父さんに抱かれ読み手の人が用意した絵本に見入っています。面白い場面で抱かれている子が振り返ってお父さんの顔を見ました。(おとうさん、おもしろいね〜)と心で言っているようです。それにこたえるお父さんも(うん、おもしろいね)とうなづいて応え、子どもは嬉しそうに納得の表情、四つの瞳が絵本の中に引き込まれていきます。

読み手の人が「おしまい、おもしろかったね」と声に出して言うと、「うん、おもしろかったあ」と、ざわざわ共感の雰囲気になります。そしたら、後はボランティアも職員も親子一緒に楽しめます。交わされる何げないおしゃべりの中で、お父さんお母さんは子育てのヒントを得て帰る時もあるでしょう。絵本の読み聞かせを真ん中にして子どもたちが心豊かに育ち、より良い社会性を育んでいく場として、大人も含む「共^{ども}育ち」の場として、図書館ボランティアの活動を続けたいと思います。

私は、小淵沢の朗読グループ「ゆずっこの会」の会員で、小淵沢小で読み聞かせを年3回、仁生園でも年3回程しています。図書館で絵本、紙芝居、物語を選んで行っています。コロナ禍で出来ない年もありましたが、子どもたちや高齢の方の真剣な眼差しや拍手に元気をいただき、頑張っています。近くに図書館があり、たくさんの書物から学ぶことができることは、生涯学習であり、生きる喜びです。

北杜市は、県内で一番面積が広く、8つの町が合併してできた市です。それぞれ中核に図書館があり、地域の文化発展に寄与していきたくと思います。これらの図書館の数を減らす検討をしていると聞きます。近くに図書館がなくなると、本との距離が遠のき、生きる楽しみを奪われる人も出てきます。高齢の人の認知症も増えると思います。減らすのではなく、今ある図書館を有効利用し、子どもや大人、高齢の人も集える催しを年2～3回程企画してはどうでしょうか？子どもたちに参加してもらえる夏休み、12月のクリスマス会等々から始めたらどうでしょうか。私達ボランティアも大いに協力させていただきます。

この素晴らしい景色の北杜市を、みんなで発展させていけたらいいですね。

小淵沢図書館ボランティア 本わ会

【意見書提出者】

吉柳俊孝 佐野恭子 進藤隆子 中山洋美 平出香織 野中真理子

【活動】

本わ会は、小淵沢図書館を拠点に活動している5つのボランティア（※）をつなぐ会です。普段は個々に活動しており、小淵沢図書館のイベントには本わ会全体で協力しています。また、図書館の協力を得て自主企画の催し（音楽と朗読の会など）の開催、小淵沢地区内の文化財を知るための活動（図書館地域資料の閲覧、勉強会、現地訪問など）も行っています。

※5つのボランティア

- ① 「森のなかまたち」 放課後子ども教室（＝ワクワク教室）他での小学生への読み聞かせ
- ② 「ゆずっこの会」 福祉施設、小学校、図書館主催朗読会などでの朗読ボランティア、視覚障害者のための音声ボランティア
- ③ 図書整理（個人） 資料整理や点検などへの協力
- ④ 乳幼児担当（個人） 乳幼児向けおはなし会での手遊びや読み聞かせ
- ⑤ 「朝読」担当（グループ） 小淵沢小学校「朝読」での読み聞かせ

【意見】

- ・ボランティアの思いは、「小淵沢地区の子どもたちのために」「この図書館のために」であったり、対象がもっと広い範囲であったりさまざまで、図書館配置などによっては意欲が失せるメンバーも出てくるだろう。
- ・子どもたちや保護者が、おはなし会やブックスタートなどでボランティアを含めた多くの人と関わりを持つのはとても大切なことだと思う。
- ・小淵沢図書館には、乳幼児親子が他の来館者に気兼ねなく過ごせて（おもちゃもあり）、おはなし会にも活用している独立した子ども室があり、貴重な空間になっている。
- ・資料のレファレンス、活動場所の提供、連絡調整などを図書館にしてもらっており、地域に密着した担当職員がいることでボランティア活動がしやすくなっている。
- ・日頃からの活動を通じて図書館職員との信頼関係ができており、持ち込みの企画などにも職員の全面的な協力が得られている。
- ・本の貸し借りや活動支援の窓口は地域に欠かせない。

以上

武川図書館は S59 年に、元武川の湯を改装して出来たものです。

小さな図書館でしたが現在は、甲斐駒センターせせらぎ内に移り、生涯学習の場、人々の交流の場、文化発信の場として、子供が利用出来る範囲にある施設として活用されています。私たちボランティアグループ桜さくらの会は、むかわ図書館活性化を考える会として発足し、様々な活動して来ています。

幸いにも、児童館・つどいの広場・学習室・会議室・ホールを併設している複合施設であり、図書館を中心に様々な世代のニーズに合ったイベントを行うには最適な施設です。

これまでに、幼・児童向けの読み聞かせ・お話会・お茶会・夏休みの工作や読書感想文講座・家族でハロウィン・地域の方々の出店・中高年対象のスマホ教室・ギター演奏会・各種講演会などを開催して来ました。

参加者からは、企画が素晴らしい。会場が近くで参加しやすい。文化を身近に感じた。歩いて来られる所で参加しやすくて良かった。・・などの声が寄せられました。

皆さんに愛される図書館として、少なからず、活性化に協力出来ているのではないかと自負しています。身近な文化拠点として図書館は必要です。これからもこの図書館のボランティアとして活動を持続して行きたいと思っています。

今、現存する施設を閉鎖することなく、有効に活用出来るような方策で、ご検討頂きたい。

むかわ図書館桜さくらの会 代表 小池 まき子